

2024年度COI-NEXT/BX・GX国際教育研究拠点 連携ワークショップ in JAMSTEC

開催概要

COI-NEXT「カーボンネガティブの限界に挑戦する炭素耕作拠点」は産学官連携による新たな価値の共創拠点として、BX・GX国際教育研究拠点は博士課程育成の教育研究拠点として、それぞれが異なる役割を持って活動しています。一方で、COI-NEXTの研究開発課題1「持続可能な炭素耕作技術の開発」および研究開発課題3「炭素耕作による燃料生産技術の開発」と、BX・GX国際教育研究拠点で取り組む課題の概要、コア技術等は一致しています。両拠点のポテンシャルを相乗的に活かすため、双方の取り組みの理解向上と、具体的な連携可能性について議論することを目的としたワークショップです。

開催日時

令和6年 **8月7日(水)**

13:00~18:00

開催形式

海洋研究開発機構 横須賀本部からオンライン配信

対象

教職員・学生

プログラム

開会挨拶

13:00-13:10

開催概要説明

13:10-13:20

COI-NEXT プロジェクトリーダー
養王田正文

BX・GX国際教育拠点拠点長
田中剛

COI-NEXT研究開発課題1: 持続可能な炭素耕作技術の開発

13:20-14:05

「ブルーカーボンとしての藻類・海草の可能性」
東京農工大学 大学院工学研究院 教授 田中剛
「山と海で作られるリグニンの牙城を攻略する」
東京農工大学 大学院農学研究院 教授 梶田真也
「土壌における炭素隔離機構とその社会実装に向けて」
東京農工大学 大学院農学研究院 准教授 杉原創

COI-NEXT研究開発課題3: 炭素耕作による燃料生産技術の開発

14:20-15:05

「炭素耕作による燃料生産技術の開発」
地球環境産業技術研究機構 バイオ研究グループ
グループリーダー/ 主席研究員 乾将行
「酸性官能基を付与させた炭素系固体酸触媒による稲わらの糖化プロセス」
東京農工大学 大学院工学研究院 助教 神谷憲児
「バイオマス由来糖類からの高効率バイオ燃料生産技術の開発」
地球環境産業技術研究機構 バイオ研究グループ 副主席研究員 寺本陽彦

海洋研究開発機構における地球炭素動態理解への取り組み

16:20-17:05

「二酸化炭素問題の(あまり知られていない)科学的基礎」
海洋研究開発機構 海洋機能利用部門 部門長 大河内直彦
「炭素の行き着く先としての深海堆積物」
海洋研究開発機構 地球環境部門 グループリーダー代理 土屋正史

総合討論

養王田正文 田中剛 大河内直彦

17:10-17:55

閉会挨拶

海洋研究開発機構 海洋機能利用部門 部門長
大河内直彦

17:55-18:00

参加申込フォーム <要事前申込> 下記URLまたはQRコードから

<https://forms.gle/t4u4Q2Lhsqy2cvkF8>

8/2(金) 17:00 締切

お問合せ先

石川 彰人 (東京農工大学 BX・GX国際教育研究拠点)

aishikawa@go.tuat.ac.jp

主催: 東京農工大学 共催: 海洋研究開発機構(JAMSTEC)

